

野菜花き 7月上旬巡回調査結果の概要について

【東北信】 巡回日 7月6日、7日

1 トマト

小諸市の巡回ほ場（露地）は、着果中（収穫前）であった。6月下旬に続き、オオタバコガの産卵が確認されたが（図1）、防除が実施されており、被害果はみられなかった。病害はみられなかった。

長野市の巡回ほ場（施設栽培、半促成栽培）は栽培終了につき、ほ場変更は、着果中（収穫前）であった。うどんこ病（初発）がみられたほか、オンシツコナジラミ（図2）とアザミウマ類の寄生がわずかにみられた。



図1 トマトの蕾に産付されたオオタバコガ卵（小諸市）



図2 トマトのオンシツコナジラミ（長野市）

2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は、収穫中であった。うどんこ病が発生初期で（図3）、アザミウマ類の寄生が6月下旬よりも多かった。

中野市の巡回ほ場（露地栽培）は、収穫中であった。ハモグリバエ類の寄生がみられたほか（図4）、アザミウマ類の寄生は防除により6月下旬よりも抑制されていた。病害の発生はみられなかった。



図3 きゅうりのうどんこ病（長野市）



図4 きゅうりのハモグリバエ類（中野市）

3 いちご

南牧村の巡回ほ場は、収穫期であった。アザミウマ類がほ場内の青色粘着トラップに誘殺され（図5）、寄生花がわずかにみられた。前回調査でわずかにみられた炭疽病は終息し、病害の発生はみられなかった。



図5 青色粘着トラップに誘殺されたアザミウマ類（南牧村）

4 キャベツ

小諸市、軽井沢町の巡回ほ場は、収穫が終了していた。

南牧村の巡回ほ場は、収穫期であった。ウワバ類による食害がやや目立った。病害の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場は、結球期であった。虫害では、ウワバ類が卵から成虫（図6）までみられ、他のチョウ目害虫を含めて食害が散見された。病害の発生はみられなかった。



図6 キャベツ葉上に静止するタマナギンウワバ成虫（長野市）

5 ブロッコリー

御代田町の巡回ほ場は、前作が終了して次作が作付けされており、生育期（8葉期）であった。虫害では、アブラムシ類（有翅虫）の着生のほか、チョウ目害虫の被害株がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、収穫が終了していた。

6 はくさい

上田市の巡回ほ場は、定植前であった。

小諸市の巡回ほ場は、前作が終了し、次作は未定植であった。

小海町の巡回ほ場は、生育期（12葉期）であった。チョウ目害虫の被害株が少ないながらみられた。病害の発生はみられなかった。病虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、生育期（10葉期）であった。病虫害の発生はみられなかった。

7 レタス

上田市の巡回ほ場は、生育期（8葉期）であった。病害虫の発生はみられなかった。

小諸市の巡回ほ場は、生育期（10葉期）であった。病害虫の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は、生育期（6葉期）であった。病害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、収穫期（6葉期）であった。べと病の発生がわずかにみられた（図7）。害虫の発生はみられなかった。



図7 レタスのべと病（南牧村）

8 アスパラガス

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎期であった。アザミウマ類の寄生がみられ始めた。病害の発生はみられなかった。

小布施町の巡回ほ場（雨よけ栽培）は、立茎繁茂期であった。虫害では、アザミウマ類のほか、ハダニの寄生がみられた。病害の発生はみられなかった。

飯山市の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎期であった。病害では、茎枯病の発生、虫害では、アザミウマ類の寄生がみられ、いずれも前回調査より増加していた。



図8 払い落しで確認されたアスパラガスのハダニ類（小布施町）

9 ながいも

長野市の巡回ほ場は、生育期であった。病害虫の発生はみられなかった。

10 ばれいしょ

小諸市の巡回ほ場は、倒伏期であった。

前回調査に続き、夏疫病の発生がみられ、病勢が進展していた。

また、アブラムシ類の寄生は少なく、寄生蜂のアブラバチ類（図9）などアブラムシの土着天敵がみられた。



図9 アブラムシの天敵寄生蜂のアブラバチ類（小諸市）

11 きく

佐久穂町の巡回ほ場は、着蕾期であった。

アザミウマ類による葉の加害痕がわずかにみられた（図10）。

病害の発生はみられなかった。



図10 アザミウマ類によるきくの葉の加害痕（佐久穂町）

【中南信】 巡回日 7月6日、7日、8日、9日

1 トマト

南箕輪村の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。葉にオンシツコナジラミ成虫（少発生）の寄生がみられた。病害はみられなかった。

松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。葉および果実に灰色かび病（少発生）の発生がみられたほか、花にアザミウマ類（少発生）の寄生がみられた。

伊那市の巡回ほ場（露地栽培）は、着果中であった。葉にアブラムシ類（中発生）の寄生がみられた。

安曇野市の巡回ほ場（露地栽培）は、着果中であった。茎葉および果実にオオタバコガ幼虫（少発生）の寄生がみられた（図11）。



図11 トマトのオオタバコガ（伊那市）

2 きゅうり

松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫が終了していた。

高森町の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。花にアザミウマ類（少発生）の寄生がみられたが、前回調査時より密度が低下していた。

3 すいか

飯島町および松本市の巡回ほ場は、着果中（果実肥大期）であった。病害虫の発生はみられなかった。

4 キャベツ

塩尻市の巡回ほ場は、結球始期であった。病害虫の発生はみられなかった。

朝日村の巡回ほ場は、収穫期であった。病害虫の発生はみられなかった。

茅野市の巡回ほ場は、結球期であった。病害虫の発生はみられなかった。

5 ブロッコリー

伊那市の巡回ほ場は、収穫期であった。外葉にウワバ類（少発生）の寄生がみられたが、収穫に支障が出るほどの被害ではなかった。

6 はくさい

木祖村の巡回ほ場は、収穫前（収穫終了によりほ場変更）であった。病害虫の発生はみられなかった。

7 レタス

塩尻市および朝日村の巡回ほ場は、生育期（4～5葉期）であった。病害虫の発生はみられなかった。

8 セルリー

原村の巡回ほ場（露地栽培）は、春作の収穫が終了していた。

9 アスパラガス

豊丘村の巡回ほ場（雨よけ栽培）は、立茎中であつた。擬葉にアザミウマ類およびアブラムシ類（いずれも少発生）の寄生がみられた。

飯島町の巡回ほ場（雨よけ栽培）は立茎中であつた。擬葉にアザミウマ類（少発生）の寄生がみられた。

松川村の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎中であつた。擬葉にアザミウマ類（多発生）の寄生がみられた。

10 ねぎ

南箕輪村の巡回ほ場は、本葉 7.0～8.0 葉であつた。葉に黒斑病（中発生、図 12）およびさび病（少発生）の発生がみられた。虫害では、前回調査に続き、葉にアザミウマ類（中発生）およびネギハモグリバエ幼虫（多発生）の寄生がみられた。

山形村の巡回ほ場は、本葉 6.0～7.0 葉であつた。こちらも葉にアザミウマ類（多発生）およびネギハモグリバエ幼虫の寄生（中発生）がみられた。病害の発生はみられなかった。



図 12 ネギ黒斑病
（南箕輪村）